

※優先したいこと

分類	強み	弱み	必要なこと（取組等）
自然	<p>自然が豊か</p> <p>自然が豊か 豊かな自然(川や山等) 自然が多い 自然が多い 自然環境が良い</p> <p>美しい自然・ハケ岳</p> <p>ハケ岳ブルー(青空が濃い) ハケ岳 スキー場や観光地に近い インターから近い 自然が美しい ハケ岳 星 はっきりとわかる四季</p>	<p>整備しきれない草木 自然</p> <p>登山道の整備</p>	<p>豊かな自然が維持できるように村(住)民の意識を高める小・中学生教育</p> <p>村の自然を色々なツールを使ってアピールする</p> <p>自然環境をみたり楽しんだりできるスポットの整備・周知</p> <p>HPやSNSを活用した需要別の情報紹介 (ウォーキング・写真・登山・歴史…)</p> <p>自然を守っていくための保護 開発の規制 ゴミ拾い</p>
	<p>山林</p> <p>山林が多い 森林が多い</p>	<p>手入れがされていない山林</p> <p>山林伐採 間伐が行いにくい</p> <p>台風等による倒木</p>	<p>村が主体となって森林の整備を呼びかける</p> <p>森林整備へ国、県等の補助金の活用 クラウドファンディングの活用</p> <p>山林の整備や倒木対策の推進と助成(補助)</p>
景観	<p>景色</p> <p>景観が良い 星がきれい 星がきれい 星がきれい 星がよみえる</p> <p>農業が盛ん 水田景観</p> <p>田畑がキレイに作られている 村内ほとんどの所で360° 山をみられる</p> <p>諏訪南ICからハケ岳へ向かう道 真っすぐな道 山がきれいに見える</p>	<p>太陽光発電設備が増えている(景観を損ねる)</p> <p>道路沿いの雑草が多い 星がきれいな他の場所の方が知名度あり 星と電照農業の関係</p> <p>宅地・田・畑・山林等の管理 道路へのはみだしによる通報(多)</p>	<p>管理の周知</p> <p>林の整備をして空を見やすくする</p>
環境	<p>夏涼しい 夜は涼しい 涼しい</p> <p>高地のため、夏涼しく温気が少なく快適 温暖化時代に快適な気候 高い晴天率 天気が良い 日照時間が長い 空気がうまい カブトムシが獲れる(自然豊か) 動物が住みやすい 美しい村連合 住むことに意義がある原村(自然環境) 住みやすい(気候) 自然豊か 文化園など自然にふれる場もある 古き良き街並みと新しいおしゃれな街並み(ペンション) オシャレな田舎感 静か 夜の騒音が少ない 戸建てが多いため夜も騒げる 田・畑・山林が多く、高層ビルやマンション等がない。 生活に必要なものは揃っている 都会に近い 人通り、車通りが少なく外でも活用しやすい 散歩する場所が多い(人が歩きまくってる) 子どもを育てやすい(自然が多い)</p>	<p>太陽光発電の普及が低いように見える</p> <p>ホテルがいなくなった</p> <p>高低差が激しい</p> <p>移住と自然環境保全</p>	
水	<p>水道水がおいしい(つめたい) 水道水が飲める 水がきれい 水がおいしい</p>		
ゴミ		<p>ゴミの分別が緩い?</p> <p>ゴミの分別の徹底がされていない</p> <p>ゴミの分別 燃えるゴミの中にビニール類やペットボトル等が入っていることも</p> <p>ポイ捨て ゴミが落ちている</p>	<p>いつでも入れられる資源回収BOXをできれば地区に1カ所 役場や公民館だけでも(ペットボトル・トレー等)</p> <p>分別支援</p> <p>村内各所にゴミ箱</p>
投棄		<p>山林の中の不法投棄 手入れがされていない林や畑への不法投棄が多い</p>	<p>人の手が入ってないと捨てられるので、下草を刈る</p>

第5次原村総合計画後期計画 ワークショップ結果まとめ

※優先したいこと

分類	強み	弱み	必要なこと（取組等）
公園・遊び	小さいが各区に公園がある 各区に公園があり子供が遊べる 子供に対して自然が近くにあるならでは遊びを提供できる。 (竹を切って水鉄砲作りなど) 子どもが遊べる資源がある	村内公園が少ない 遊具が少ない 保育園近場の公園が限られている 子供の遊び場 公園などが少ない	公園の整備 ちょっと広い公園が欲しい 子供が安全に遊べる公園の整備 親の交流もできる場所も兼ねる
防災	災害の少なさ 冠水等が少ない 災害が少ない 災害が少ない	災害・大雨 ケリラ豪雨多い 災害が発生した場合のゴミの処理についてどうするのか(業者・ゴミの出す場所) 災害に対する意識が低い 災害発生時の行動 災害が起きたときの対応について想定や準備が不足しているのではないかと 防災についての知識乏しい。いざという時、職員としてどう動けばいいかわからない 防災無線が無い 若い世帯や別荘地に有線が無い 消火栓や防火水槽が少ないエリアがある	災害ゴミが発生した場合にゴミの捨て場業者と災害協定を結ぶ(近隣市町村との調整が必要) 災害支援体制の強化 災害ゴミの対応など 防災避難マニュアルの作成 防災勉強会 SNSの活用 消火器等の購入に対して補助金を導入の推進
消防	消防広域になりサービスが一定	消防団員の減少 消防団員の減少 重要性、必要性が伝わってない 操法が大変(仕事の負担にも) 消防操法大会の負担が大きすぎるが見直し縮小・取り止めにがされない	準団員をつくる 重要性、必要性の周知 消防団員の負担を減らし、住民・家族の理解を得られる体制に見直す
道路	信号による渋滞がない	手入れがされていない道路 村内の道路が狭い 村道の維持管理 路面の整備不足 道路に穴が開いている所がある 役場西側の県道の幅が狭く、ガタガタ 通学路の整備が不十分などところあり 歩道が確保されていない道が多い 外灯が少ない	 人通りが多い所に設置する (星がきれいに見える場所とすみわけ) 外灯・歩道が必要な所を調べる
交通	高速バスの乗り場がある 特急の駅まで車で15分で行ける 東京からのアクセスが良い(車)	高齢者の車の運転 高齢者の移動手段が少ない 車を持ってない高齢者の移動について 車がないと生活が大変 車がないと不便 交通手段が限られる 公共バス 少なくとも不便 公共交通の利便性 バス アクセス改善 交通の便が悪い(アクセスしづらい) 交通(電車) 歩く人が少ない 通院、介護サービス利用の不足 学校から家が遠いことがあり、親の迎えを一人で待っていることがある 駅が遠いので通学への考慮要素が増える 高校生の送迎	自家用車以外の交通手段の確保(公共交通・乗合いタクシー等) ライドシェア(相乗り)導入している市町村もある ライドシェア Uberタクシー事業 公共バスの使いやすさ ニーズに合った交通サービス(個別・時間・場所) 村内巡回バスを下校後に増便する 近距離移動手段を入れる 自動化の活用(交通手段) 住民が村内で消費できるよう、交通手段の確保 デマンドタクシー等 移動手段を増やす(高齢者の) バスの運行数を増やす 富士見や茅野へも行きやすく レンタルサイクルを配置(車がないと移動できないに対して)
移動手段			
通学	登下校の危険が少ない 通学バスがいい		
空き家		空き家の増加、独居 空き家増加の対策	空き家を確認し、その状態が何年か続いた場合は住宅用地特例をハズす リノベーション補助 リノベーションの体験イベント 空き家の管理 相談窓口 空き家バンク 空き家バンク等を活用して斡旋し、借り賃を促進させる
住居		無軌道な別荘開発 単身者用のアパートが無い、又は少ない 単身者用のアパートが少ない 賃貸住宅が少ない アパートが少ない アパートが少ない アパートなど住む場所がない アパート等の水道代のハガキを大家さんに送付	農家と連携し、農業体験、宿泊体験 農業体験用の宿泊施設を村営でつくる。→雇用+移住促進 子育て世代に支援金 村営の格安アパートをつくる。 一戸建て+仕事を提供(他市町村の例のように) 家賃 子供の数で割引 いずれ自分の持ち家にする
若者		若い人は一度村を離れると戻りにくい(就職先や利便性から) 若い人が戻ってこない 若い人同士のつながりが少ない 若者が減少 若者のUターン	バスケットコートを作る 若い人たちの移住を増やす Uターン就職者に村から補助金 交流の場の創設
出会い		出会いの場がない 出会いの機会	

第5次原村総合計画後期計画 ワークショップ結果まとめ

※優先したいこと

分類	強み	弱み	必要なこと（取組等）
雇用		就職が少ない 働き場が少ない 働き場所が少ない 働く場所が少ない 働き口が少ない 働き口が狭い 村内の雇用が少ないため、村外の転出につながってしまう可能性がある 地元雇用率が少ない 雇用相談が窓口でできない →若年層への雇用の場としての魅力発信不十分 →産業の弱み 移住 就職先不安 若い子がやめない職場を	農業以外でも働ける環境作りをしてほしい テレワークがしやすい環境の アピール 工業団地との採用枠の情報共有 出張ハローワーク 若い人が相談しやすい環境づくり 現場で声をあげる。現場の声を聞く。共有する。 逃げ道を作る
職場環境			
産業	中央道からのアクセスも良いため今後、企業の工場誘致等が期待される	企業数が少ない	
移住者	移住者による飲食店が増加している 移住者が多い 移住者が多い 移住者が多い 隠れた著名人 原山辺りには行動力のある人が多い 移住者が良くもわるくも元気 元気な人がいる 移住者は楽しみ方を知っている	移住者の分析 エコラインの上下で分かれる 自由すぎる	移住者の声をHPやSNS等で発信していく 移住者等に対し「原村を知ろう！」的なイベント開催 ※分野に詳しい方を講師に迎える 楽器村
農業	農業が盛ん 農業が盛ん 元気な農家が多い 農業者は高齢になっても働けている 働く場があり元気 高齢者が良く働く 農産物そのものがブランドになっている 農地面積が広く農業が盛んであり、セロリのブランド力が発信されている。 おいしい高原野菜 セロリ 日本一 ブロッコリー（認知症予防） 夏のセロリが有名 生産量日本一のセロリ 高原野菜の生産量 野菜がたくさん収穫できる 様々な種類の野菜を作っている（珍しいものが多い） 作った時の達成感がある 農家の魅力 野菜作りの喜び 達成感 農作物が新鮮で安全性が高い 人と自然と農業・商工業が共存している 農業体験ができる	農業経営者の高齢化 農地が広すぎる分、兼業農家への貸出等には不向きとなる可能性がある 労働が大変 資金が足りない セロリ一品目からの拡大 セロリの付加価値どうすればいいのか？ ジャムいまいち キムチ売れなかった おいしさが足りない 気候によってセロリが取れなくなるか？ 農業・その他産業の魅力の可視化が不十分	若い方で農業に興味のある人の誘致 自動化の活用（農業機械） 農作物の自由化 農地の提供 冬場が弱い 都会での出店販売 自由農園に原村産コーナーを設けてもらう 夏は高原野菜 冬はシクラメン セロリ依存から脱して、気候に合わせた次の作物へのシフトを見据える マンゴーを作る
商品開発	おいしい野菜がたくさんある 野菜がおいしい	セロリを生のまま売るのはいいけど、売り方がおしゃれじゃないもたない そのまんまじゃなくてもいいぞ 原村といえばコレという絶対的な知名度の商品で広く流通できるものがない 特産品が開発されていない	一葉っぱの使い方をつける ・天ぷら ・佃煮 ・スクランブルエッグに入れる(おいしいよ) みそマヨネーズ&セロリを真空パックで売って見たら買いやすいかもね 大ヒットするかもよ 高原野菜ラーメンを作る 公券・コンテスト ↓ (イベント) 商品化 ↑ 農家(生産者)と連携 企業(工場)誘致

第5次原村総合計画後期計画 ワークショップ結果まとめ

※優先したいこと

分類	強み	弱み	必要なこと（取組等）
観光	<p>原村の観光ブランドとして星まつり等確立されており、観光客集客につながっている</p> <p>魅力あるイベント 星まつり、クラフト 収穫祭</p> <p>自然の中でのイベントがある</p> <p>実践大 村内・外の人に知名度がある</p> <p>自然や都会に魅力が移住につながっている</p> <p>何もない 不便な魅力</p> <p>観光地が静か</p> <p>温泉がある</p> <p>星空映画がある</p> <p>星まつりがある</p> <p>ペンションビレッジ</p> <p>ペンションがある</p>	<p>観光圏など他との連携により事業しており、オリジナルで行えることが少ない</p> <p>造るだけ造って放置の遊歩道（〇〇コースなど）</p> <p>観光する場所</p> <p>観光地としての名所がない</p> <p>観光スポットが少ない</p> <p>通り過ぎる 目的がない</p> <p>冬場が弱い</p> <p>有名なおみやげがない。</p> <p>観光や飲食店などの情報が少ない</p> <p>ペンション古い</p> <p>ペンション経営の高齢化</p> <p>ペンションを復活できないか</p>	<p>美しい自然がどこが「ココ」という場所が具体的にあればアピールしやすい</p> <p>PR対象別に内容を変える</p> <p>アウトドアキャンプ体験会</p> <p>自然教室 バードウォッチングや山の植物教室</p> <p>自然を利用したイベントの補助</p> <p>（自然）観光 ～テラスみたいな目玉あるとともっと人がくる</p> <p>自然の遊び 情報提供</p> <p>観光地をPRする</p> <p>～の聖地 スポットを仕掛ける</p> <p>冬のイベント増やす（スノーシュー・かまくら・保存食作り）</p> <p>SNS活用</p> <p>村内のお店が1つに集まるようなイベント開催</p> <p>夏季限定で原村の野菜を使ったお店（ビュッフェ的な）</p> <p>飲食店イベントを工業地区で</p> <p>若者向けペンション 宿泊企画 グランピング等</p> <p>合宿所としてペンションに宿泊 卒業旅行</p> <p>日帰りにならない観光（夜のイベント 飲食店 酒の提供）</p>
買物		<p>お店が少ない</p> <p>お店が少ない 域外消費が多い</p> <p>スーパーが1つしかない</p> <p>ヘルシーな総菜屋さんがあったらいいな</p> <p>チェーンのお店がほしい コンビニ 飲食店</p> <p>飲食が不便 高い値段 知らない</p> <p>電気屋（家電）がない</p> <p>買物が不便 日用品</p> <p>本屋がない 靴屋がない</p> <p>服屋がない</p> <p>役場関係の買物でAコープが強制されること。</p>	<p>アクセスのしやすい場所 広さ 値段のリーズナブルさ エコラインの下まで</p> <p>食堂の方が農家への弁当の配達サービス</p> <p>店の誘致</p>
スポーツ	<p>冬季スケート 単純にすごいなーと思う</p> <p>社会体育館 きれいで広いアリーナ</p>	<p>社会体育館 運動器具が不十分</p> <p>運動できる公園がない</p> <p>運動する場所</p> <p>村自体にあまりスポーツ施設がない。気がする…</p> <p>自然文化園は外から来た人の施設？</p> <p>安心して自転車に乗れる場所がない</p> <p>安全なウォーキングコースが遠い</p> <p>冬の期間に体を動かせる施設場所が少ない</p>	<p>原山のほうにスポーツ施設をつくる</p> <p>近隣市の施設を利用できるようにする</p> <p>公共施設利用方法の周知</p>
健康	<p>自然豊か アウトドア活発になる</p> <p>ストレスが少ない</p>		<p>歩数を原村で使えるポイントにする</p>
文化	<p>裂き織り体験できる</p> <p>機織りが素敵</p> <p>鐘（こて）絵の文化を大事にしてい</p> <p>美術館が村内にあり、中学生と交流ができる（ブロンズ像）</p>		
文化財	<p>縄文時代の栄光</p> <p>縄文遺跡が多く歴史に直にふれられる</p> <p>文化財 土器がたくさん</p>	<p>遺跡・文化財の活用</p> <p>阿久遺跡 一般の人が興味を持てるような発信がありません</p> <p>開発と遺跡保存のバランス。</p> <p>塾が少ない（習い事）</p>	<p>セロリン他2体とは別に原村遺跡に関するアピールもあってよいかも</p> <p>文化財 キャラクター 小学生にPRしていく 興味を持ってもらう</p> <p>別のイベント等何かと絡めて発信 興味のない人の目にもふれさせる</p> <p>塾モジュールを作る（本屋・レンタルDVD）</p>
教育	<p>原村塾（？）なるもの</p> <p>毎朝校長先生が校門で元気にあいさつしてるとこ</p> <p>小・中学校が村に1校なので、子供同士が仲良さそう</p> <p>1村1校の手厚い教育</p> <p>小中1校ずつ</p> <p>1村1校1園</p> <p>立派な体育館やプール</p> <p>子供が思ったより多い（ちょうど良い）</p> <p>図書館や体育館が学校のすぐ近くにある</p> <p>保育園から中学校までみんな一緒（が、ほぼ）</p> <p>保・小・中が近くにある</p> <p>他校と比べて児童・生徒数が少ない</p> <p>社会体育館の利用者が割といる</p> <p>子供向け大人向け講座開催が多い（参加人数不明だが）</p> <p>ジュニア教育おもしろい</p> <p>自然に触れあえる機会が多い</p>	<p>保育園・小学校・中学校が村内に1つしかない</p> <p>小中1つなので他の環境へふれる機会が少ない</p> <p>中学校のプールが使えない</p> <p>児童館がない 子供の遊び場</p> <p>教育面他比較対象が近くにない</p> <p>他市町村との関わりなし。なイメージ</p> <p>公民館講座多いが周知不足も感じる</p> <p>利用者が限られる（ニーズが全体じゃない）</p> <p>自然との遊び方を知らない</p>	<p>1園 職員固定化しないように（専門職の非固定化を）</p> <p>プールの夏季解放</p> <p>児童館（子育て支援施設）をつくる</p> <p>施設の充実</p> <p>交流職員制度（いろいろな視野を広げるため）</p> <p>森林や農業を活かした学校イベント（村有林秘密基地）</p>
食育	<p>給食に村の野菜がでる</p> <p>原村の野菜などをつかった学校給食がおいしい</p>		
学校	<p>原村学</p> <p>学童・原っ子が充実</p> <p>小学校 電子黒板いい</p> <p>小学校校庭が広い</p>	<p>原っ子 場所がせいまい</p> <p>小学校校庭 手入れが足りないと思う</p>	<p>公民館 役場周辺に施設が集積</p> <p>各施設を利用するのに広い駐車場の整備</p> <p>地域の方と校庭草取り大作戦！ イベントも…</p>

第5次原村総合計画後期計画 ワークショップ結果まとめ

※優先したいこと

分類	強み	弱み	必要なこと（取組等）
図書館	図書館がよく利用されている 図書館が充実 図書館 新しい本が早く入る	図書館 かつろげる広いスペースがあつたらいいなあ	図書館にかつろげる場所を確保する
出産・子育て	子ども課 園児の多さ⇒出産できているということ 保・小・中が1つずつなので連携がとりやすい 保・小・中1校ずつなので、連携が取りやすい 保・小・中1村1園1校のため、行政とも連携はとりやすい 小・中が1校ずつで、環境の変化が少ない (子供が安定する。情報共有しやすい) 子育てサロン あひるクラブ、ジュニア教室など子供を対象とした教室が多い シングルマザーも生活できる(と聞いたことがある)	出産しても自分で子育てをしない。子育てしたくなるような環境の提供 保・小・中が1つなので、何かトラブルがあると転居する方法しかない 4才児(検)健診がほしい 子育てサロンの開設時間、日が少ない 交流スペース 子供が遊べる場所 勉強やバンドとか自由にできる場所があると良い (Chukoらんどチノチノ)みたいなコミュニティがない 子育てしにくさ、園での過ごしにくさを感じている子供たち、保護者の方を支援していく組織がしっかりと確立されていないため、(例:専門の心理士や経験のある相談員等)早い段階での専門機関の支援が受けられない 子育て世代の支えあいのシステム(仕組み)「ファミリーサポート」がない	出産後の母へのケア 誰でも使用できる交流スペースの設置 子育て中の母親(保護者)が気軽に相談できる場所をつくる(子供が遊べる場所) 最近では核家族化が進み、子育てに悩む母親が多い。お年寄りの知恵を子育てに活かせる交流の場を作る(おいでなして原宿のようなもの) 可能な課題点の見直し⇒実現 専門的な職員 心理士・相談員・カウンセラー採用 子育て支援見直し コロナウィルスを機に業務分担の拡大 仕事増⇒人材増
保育園	保育園待機機がない 保育料3人目～無料	保育園の建物が古い 保育園 3才未満が手いっぱい 保育士の人手不足 母子通園など施設必要	建て替える 保育園を増やしてほしい(200人オーバー) 保育士の人員増 私立保育園 ベビーシッター呼ぶ、増やす 母子通園や子と親を支援する施設を作る
障がい者福祉	言葉の相談 母子発達相談など村でやっていてよい 大人の発達障がいの講演会が夜に一度あった	母子発達相談は毎月の回数が少なく、いっぱい 療育施設が遠い(基本的に下諏訪まで行く) 子供が増えたと当然障がい児も増える。そのフォロー、療育施設ほしい 障がい児の受入のための施設・設備が不足 障がい児早期発見のための専門家がいない。保育士の負担になる 障がい児がいて、保育士対子供の人数比とは別に人員が足りない 障がい者支援がそもそも啓発できていない ASD・ADHDのグレーゾーンの支援を充実 引きこもり支援不足 若い子が病む。精神系の理解不足	療育施設をつくる 近隣と一緒にまたは独自に施設を建てる 子供支援センターをつくる (障がい児、子育て支援などのサポートセンターとして) 心理士、作業療法士を常駐させる 乳児の親が集まる場での発達障がいに関する啓発 障がい者とのふれあい
医療	村内に診療所 近くの市町村に比較的大きな病院がある 医療施設がそこそこ充実している 診療所が近い。病院も近い 18歳未満65歳以上の医療保障 高齢者の医療費サポート(無料ではなくなりましたが…) 医療費の給付がある 子供の医療費が無料になること 18歳まで村が医療費を負担してくれる 医療費高3まで完全無料 女性検診など無料で受けられる	老人医療費に金がかかり過ぎているため、老人ばかりが得する村になっている 老人医療費に金がかかり過ぎている 老人医療費に金がかかっているため、現役世代の負担が大きい 医療費の財政負担	医療施設を維持する 医療保障の周知(もつと) 老人医療費の年齢の更なる引き上げまたは廃止
高齢者	高齢者のコミュニティ 働く高齢者が多い 高齢者の知識人が増えている 高齢者が元気	高齢者が多く出生数は減 高齢者(車が無い人)が住みにくい 高齢者が活躍できる場が少ない 高齢化が進んでいる 高齢者 移住して来られた方の家族のサポート不足 高齢者の1人での生活 高齢者が自由に通える場が少ない(特に男性) 施設の職員不足 ケアマネ不足 老人ホームが少ない 障害福祉サービスの管理する専門家がない	高齢者に仕事を委託する 資格取得補助 必要な人員の把握とその職員の採用

第5次原村総合計画後期計画 ワークショップ結果まとめ

※優先したいこと

分類	強み	弱み	必要なこと(取組等)
交流	<p>村の総合カレンダーはすばらしい</p> <p>年齢関係なく交流が多い</p> <p>ニュージーランドの学生さんとの交流ができる</p> <p>村の祭りがある(よいしょ祭り)</p>	<p>世代を超えて集まるツールがない(交流が少ない)</p> <p>移住・定住に関して村の情報発信が下手。「良くわからない」とされることもよくある</p> <p>役場以外の移住相談窓口(原村)がない</p> <p>交流したい!したくない!のバラツキの差がはげしい(のでどちらかにかたよったサービスにくい?)</p> <p>移住者と地元住人の交流が少ない</p> <p>村祭りの参加者が少ない</p>	<p>交流カフェを作る(児童館兼ねて)</p> <p>・子供食堂・移住相談・観光案内 一カ所で</p> <p>6市町村対抗スポーツ大会 リレエtc...</p> <p>他エリアへ交換学習</p> <p>“おいでなして原宿”を充実させる</p> <p>小学校一高校生 集える場所</p> <p>他地域交流(子供たち)</p> <p>交流の場づくり(中心地)</p> <p>他の近くの市町と子供の交流する機会を作る</p> <p>≪6市町村≫学校の関わりをつくる(姉妹学校みたいな)</p> <p>参加する人が減っていかないように、祭りのイベントの工夫が必要</p> <p>雰囲気作り</p>
コミュニティ	<p>地域がつながっていることによる安心感</p> <p>地域のつながり</p> <p>地域のつながりが強く、見守りが行き届きやすい</p> <p>こまかいニーズへの対応</p> <p>小さい村なのでサービスが行き届く</p> <p>担当者との距離が近い</p> <p>住民同士顔が見える関係</p> <p>顔が見える</p> <p>住民の顔がわかる</p> <p>住民との距離が近い</p> <p>住民との距離が近い</p> <p>周りの家との距離が近い</p> <p>住民同士の顔が見える関係性</p> <p>村民の顔が見える</p> <p>人数が少ないので、きめ細かいサポートができる</p> <p>小さい村のため連携がとりやすい</p> <p>他市町村と比べ、きめ細やかな支援が受けられる 細かな情報が入りやすい</p> <p>村民同士の距離感の近さ</p> <p>核家族が少なく、介護など協力できる</p> <p>有償ボランティア かなり広まってきたのでは</p> <p>ボランティア協議会をうまく使っていければ</p> <p>ボランティアで支えられている</p> <p>住民が自主的に村のために行う場ができる</p> <p>住民・役場職員の顔が見える</p> <p>区がしっかりとしている 意見の集約とか決め事</p> <p>各区ごとの「でばらい」や「ゆい」のシステムがある</p> <p>⇒地域内への広がりがあればもっとよい</p> <p>地区でやれることはしようとする</p> <p>地区行政が確立している</p> <p>地区組織がある</p> <p>原山に自治会ができた</p>	<p>移住者とのつながり</p> <p>支えあいよりも自分でやらなきゃいけないことが多い(雪かき・枝払いetc...)</p> <p>地域行事に人が足りないが行事が減らない</p> <p>住民同士のうわさに気を付けているのでなかなか本心が言えない</p> <p>住民主体の活動が長く継続していかない(育たない?)</p> <p>地域の方々との交流が少ない(子供、シニア世代)居場所の確保</p> <p>県外からの移住者は近隣住民や行政区との関わりを嫌がっていて、それが原因で移住したくない人がいるのかも</p> <p>移住者の方との交流の場がよくわからない</p> <p>住民・役場職員の顔が見えることで逆に相談しづらい</p> <p>新しい活動は元の住民の参加が少ない</p> <p>住民参加というが、決まった人しか参加しない</p> <p>地域の活動が固定化している</p> <p>定住者と住民の交流があまりない</p> <p>エコーラインの上と下で住民の意見が異なる</p> <p>参画する住民が固定化している</p> <p>自主活動グループ(NPO)が少ない</p> <p>地域課題の解決につながらないか</p> <p>地域により協力ができない 雪かき等</p> <p>地区に加入しない人が増えてきた</p> <p>集落内の高齢化による若者への負担増 出払いとか</p> <p>原山地区のまとまり</p>	<p>「動ける人で動けない人を支える」というやり方はどこまで適用するのか、最終的には公助、予算増?</p> <p>住民が参画できる事業</p> <p>高校生のコミュニティ活動がない 情報が入ってこない</p> <p>1人ひとり何が何ができるか</p> <p>子育て世代はとけ込みやすい PTAとか</p> <p>つながれる場があるとよい</p> <p>地域で生活できるようにしていく</p> <p>地区の取りまとめ等が出来る人材育成</p> <p>地域リーダーの育成</p>
公民協働	<p>住民等が公共施設を活用し活動(取組)されている</p> <p>新しい地区の新しい意見が聞ける</p>	<p>戦略的な事業が分からない</p> <p>村づくりに参加する人が限られている</p> <p>一部の人の意見が強く、多くの人の意見が反映されていない</p> <p>公民協働 限られた人のみ</p> <p>行政に参画しようとする人が少ない気がする</p> <p>村政への関心に温度差がある</p> <p>新しい住民が地域活動に参加しづらい</p>	<p>自然環境と住環境整備に多くの方の協力を得られるように区への加入をすすめる</p> <p>人材バンク制度を作り、住民の力を活用した助け合いを進める</p> <p>10年先どうあってほしいかを見据えた事業戦略!</p> <p>多くの方が思っているが発言しない声をさぐる</p> <p>SNS、インターネットを活用した住民の意識調査の仕組みを作り、リアルタイムで広く住民の意見を聞く</p> <p>子供を中心とした公民協働活動</p> <p>守る。住民ニーズを確認する</p> <p>ニーズを 言いやすい 伝えやすい 環境づくり</p>
情報	<p>有線放送</p> <p>有線放送(自宅内で聞ける)</p> <p>各戸の有線放送がある</p> <p>毎日有線放送で広報している</p> <p>有線放送による情報発信 分かりやすい</p> <p>有線放送やホームページを活用した情報</p> <p>ホームページ・有線放送システム・災害時の情報提供(メール)の整備、発信</p> <p>HPのコスパが良い</p> <p>緊急メールの活用</p>	<p>有線放送は聞かないという声が多い</p> <p>有線放送がどれだけ聞いているのか</p> <p>有線放送の情報量が多すぎる</p> <p>有線放送 放送内容の伝達方法 電話⇒スマホ</p> <p>情報発信(HPが見づらい)</p> <p>HPの内容 情報が少ない</p> <p>ホームページの最新の情報が遅い</p> <p>HPがわかりづらい 何も記事のないページもある</p> <p>ほしい情報にたどりつけない</p> <p>文字放送終了</p>	<p>有線放送システムを充実する 防災・生活・行政</p> <p>有線放送設備が無い地域については、ホームページを活用した情報発信、自治会長から住民への周知をしていただく</p> <p>有線放送原稿のテキストがHP上で放送期間に読めるシステム</p> <p>有線放送の内容の見直し 不特定多数に限る</p> <p>年代によって情報発信のツールを使い分ける</p> <p>HPの見直し</p> <p>情報の集約化</p>

第5次原村総合計画後期計画 ワークショップ結果まとめ

※優先したいこと

分類	強み	弱み	必要なこと（取組等）
広域連携	<p>諏訪広域の連携に加えて、定住自立圏での連携も行われている</p> <p>広域行政として広域連合、定住自立圏があり、重点項目について連携がとれている</p> <p>茅野・富士見・北社とは連携が取りやすい</p> <p>6市町村の連携がとれている</p> <p>ゴミ処理の共同化</p>	<p>福祉や医療の専門職が財政的に雇えないが、広域連携もできない</p> <p>岳ろくと湖周では産業構造が異なるため広域的に取組むことが困難</p>	<p>市町村合併する</p>
行政	<p>基金が多い</p>	<p>健全といえない財政</p> <p>国が施設の統合を推す中、保健センターを独立して建ててしまった</p> <p>基礎的自治体としての人口規模がない</p> <p>業務負担 保育、未満児保育、一時保育、早朝・延長保育</p> <p>業務内容の見直し</p> <p>LGBTなど同性婚のパートナー認定をしてはどうか</p>	<p>教育委員会 課内の業務見直しの話し合い</p> <p>業務改善 仕事を減らし人を増やす</p> <p>組織の見直し 業務分担</p> <p>どこにどれだけ負担がかかっているか、まず洗い出す</p> <p>職員同士の協力体制 現状＝応援</p> <p>役場の体制強化(子ども以外のことも)</p> <p>役場全体の意識改革</p>
庁内	<p>電子化が進められていく</p>	<p>行政事務の効率化がわからない</p> <p>庁内会議の内容が課長から知らされない</p> <p>庁内他課との横のつながりがないように感じる</p> <p>他の課の仕事を知らない</p> <p>必要な事業を推進して行う</p> <p>職員を育成する</p>	<p>行政効率化について考える</p> <p>庁内会議の内容、総務課で全職員に。課長によってとらえ方が違うため</p> <p>庁内会議担当課が全職員へ周知する</p> <p>情報共有を徹底するよう庁内会議でも言ってほしい</p> <p>意見や考えを気軽に言える環境</p> <p>フレックス出勤の推進</p> <p>テレワークに取り組む</p> <p>ファシリテーター育成</p>
施設		<p>施設の老朽化による修繕費の増加</p> <p>教育施設の充実 中ブルー</p> <p>役場ロビーがやや暗い</p>	<p>公共施設も老朽化している中で、緊急度重要度を調査して改善していく</p> <p>広域による施設利用と維持管理 長寿命化計画</p> <p>企業版ふるさと納税などを活かし、民間の力を信じて事業や施設の運営(PFI)などを進める</p> <p>原村を紹介する物を置く</p>
村のPR		<p>原村が描かれているマンガがあるが、それを活用できない</p> <p>差別化できるほどの特徴、個性が足りない</p>	

第5次原村総合計画後期計画

7/22 第1回ワークショップ結果

『自然環境・生活環境について』

『自然環境・生活環境について』 グループA

凡例

強み

弱み

取り組み

自然環境

自然が豊か	自然が多い	豊かな自然 (川や山等)	美しい自然 ハケ岳	ハケ岳 スキー場 観光地に近い インターから近い
豊かな自然が維持できるように村(住)民の意識を高める	自然環境をみたり楽しんだりできるスポットの整備・周知	村の自然を色々なツールを使ってアピールする	HPやSNSを活用した必要な情報紹介 (ウォーキング・写真・登山・歴史...)	星がよくみえる
小・中学生教育	高い晴天率	日照時間長い		
夏涼しい				

農業

美しい村連合	農業が盛ん 水田景観	様々な種類の野菜をつくっている 珍しいものが多い
--------	------------	--------------------------

道路

手入れがされない 山林	山林の中の不法投棄	村が主体となって森林の整備を呼びかける	台風等による倒木
森林整備へ国、県等の補助金の活用 クラウドファンディングの活用	整備しきれない草木 自然	山林の整備や倒木対策の推進と助成(補助)	

道路

手入れがされない 道路	村内の道路がせまい
-------------	-----------

空き家

空き家の増加 同居	空き家の増加の対策	空き家と確認し、その状態が何年か続いた場合は住宅用地特例をハズす	無軌道な別荘開発
単身用のアパートがない または少ない	リノベーション補助 リノベーションの体験イベント	空き家の管理 相談窓口 空き家バンク	空き家バンク等を活用してあつせんし、借り貸しを促進させる

優先

水

飲めるレベルで水道水がおおいし いくつかの地区で

買物

お店が少ない 域外消費が多い

ゴミ

ゴミの分別がゆるい? いつでも入れられる資源回収BOXをできれば地区に1カ所 役場や公民館だけでも(ペットボトル・トレー等)

防災

災害・大雨 ケリラ豪雨多い	災害が発生した場合のゴミの処理についてどうするの? (業者・ゴミの出す場所)	災害が起きたときの対応について 想定や準備が不足しているのではないか
災害ゴミが発生した場合にゴミの捨て場 業者と災害協定を結ぶ(近隣市町村との調整が必要)	消防栓や防火水槽が少ないエリアがある	優先
		消火器等の購入 に対して補助金を 導入の推進

公共交通

公共バス 少なくて不便	自家用車以外の交通手段の確保 (公共交通・乗合い タクシー等)	ライドシェア(相乗り)導入している市町村もある
公共バスの使いやすさ ニーズに合った交通サービス(個別・時間・場所)	高齢者の車の運転	

『自然環境・生活環境について』グループB

自然・景観

野菜がおいしい

水道水が飲める

自然が豊か

景色

田・畑・山林が多く、高層ビルやマンション等がない。

田畑がキレイに作られている

静か

太陽光発電設備が増えている
景観を損ねる

宅地・田・畑
山林等の管理
道路へのはみ出し
による通報(多)

管理の周知

移住と
自然環境保全

生活に必要なものはそろっている

お店が少ない

店

オシャレないな
いか感

小さいが各区に公園がある

子どもが遊べる資源がある

自然との遊び方を知らない

公園・遊び場

・若者のUターン就職が少ない
働き場が少ない
アパートが少ない

若者

若者減少

アパートが少ない

働き場が少ない

子育て世代に
支援金

アパート等の水道代のハガキを大家さんに送付

Uターン就職者に村から補助金

優先

消防団員の減少

消防団・防災

重要性が伝わっていない

重要性が大きい
(仕事の負担にも)

重要性
必要性
周知

災害の少な
冠水等が少ない

防災無線がない

若い世帯や別荘地に有線がない

防災

SNSの活用

優先

ゴミ

ゴミの分別の徹底がされていない

ゴミの分別 燃えるゴミの中にビニール類やペットボトル等が入っていることも

ポイ捨て

分別支援

村内各所に
ゴミ箱

高低差が激しい

村道の維持管理
路面の整備不足

周りの家との距離が近い

近距離移動手段を入れる

高齢者

バス
アクセス改善

県外からの移住者は近隣住民や行政区との関わりを嫌がっていて、それが原因で移住しにくい人がいるのかも

高齢者のコミュニティ

老人ホームが少ない

高齢転入者が多く
出生数は減

一例

強み

弱み

取り組み

『自然環境・生活環境について』 グループC

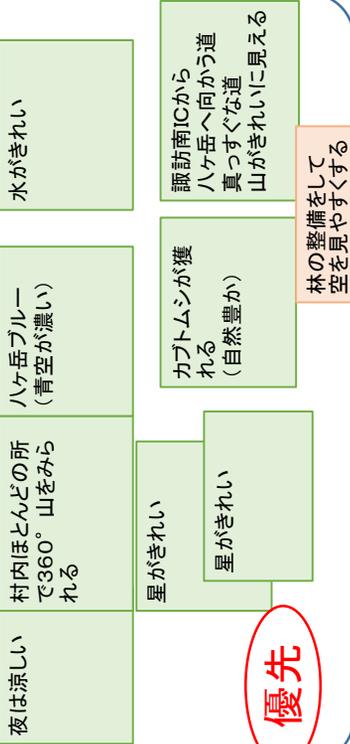
一凡例

強み

弱み

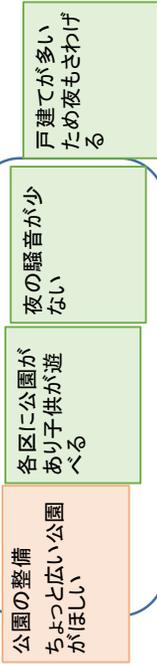
取り組み

自然・景観



優先

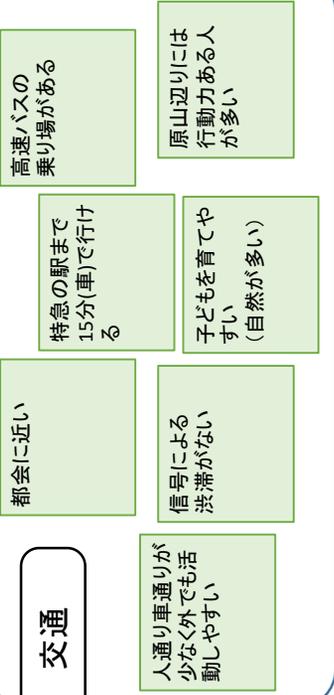
公園



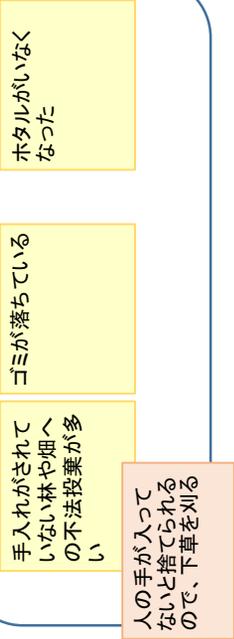
優先

災害が少ない
台風被害は比較的少ない

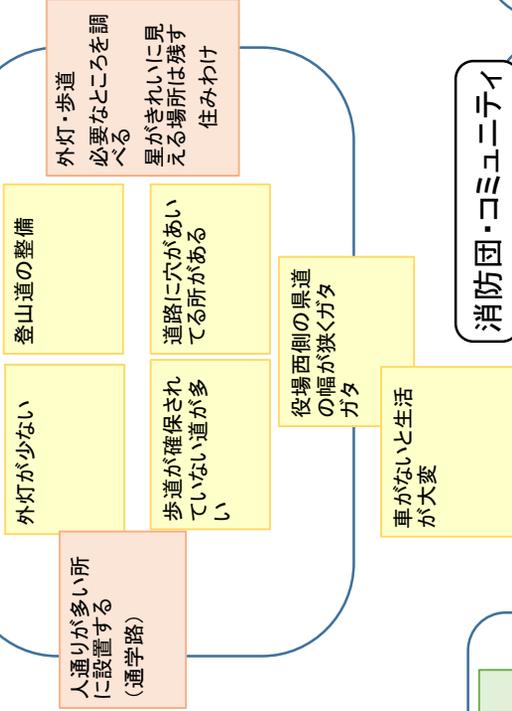
交通



ゴミ



道路



生活

高齢者(車がない人)が住みにくい

働き口が少ない

エネルギー

太陽光発電の普及が低いように見える

買物・店



優先

消防団・コミュニティ



優先

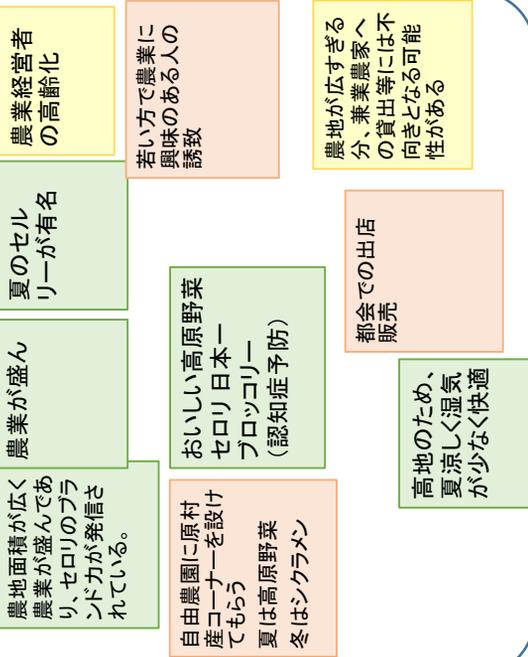
第5次原村総合計画後期計画

7/22 第2回ワークショップ結果

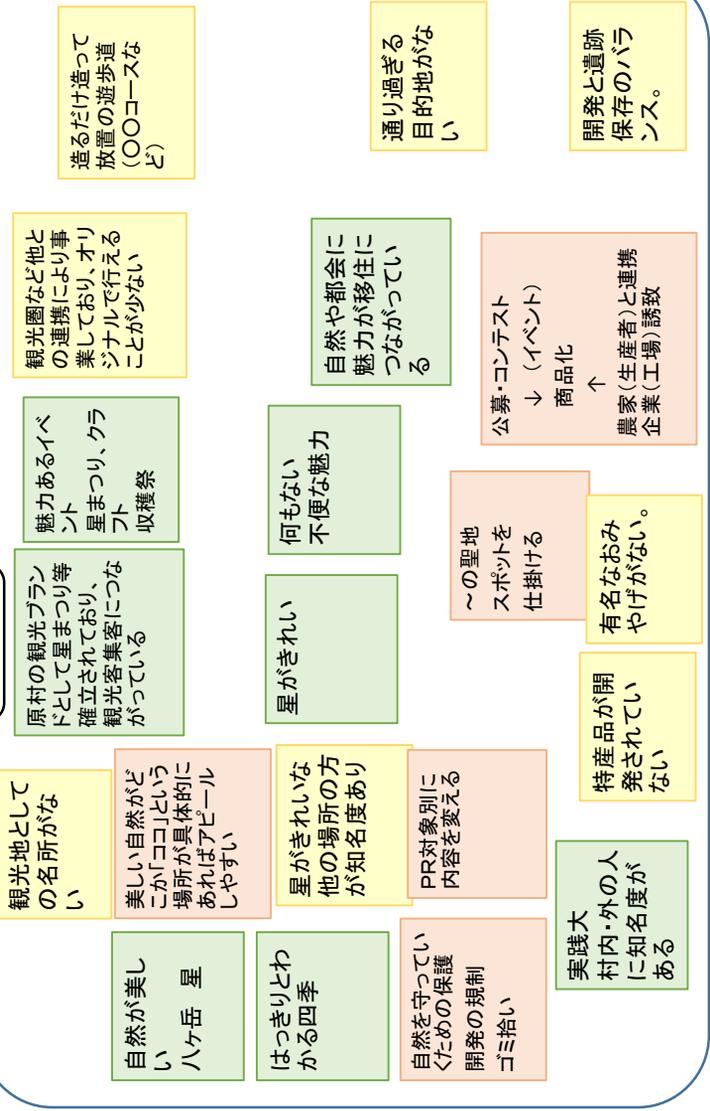
『産業振興について』

『産業振興について』グループA

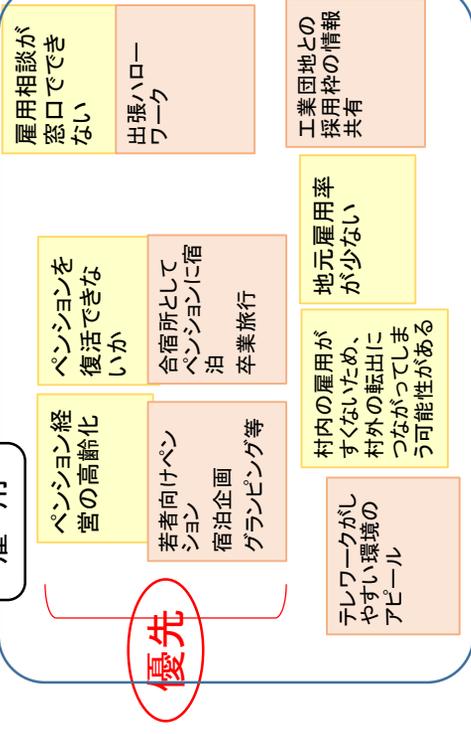
農業



観光

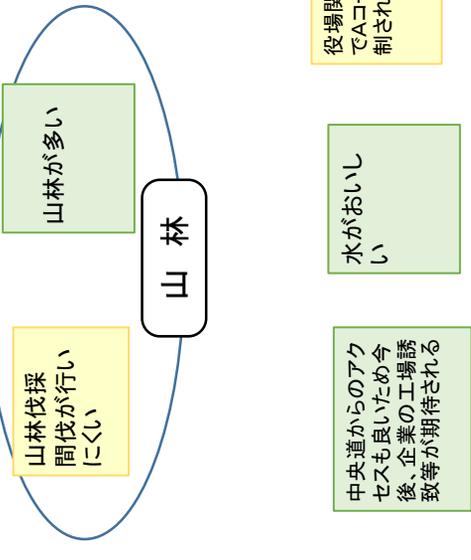


雇用



優先

山林



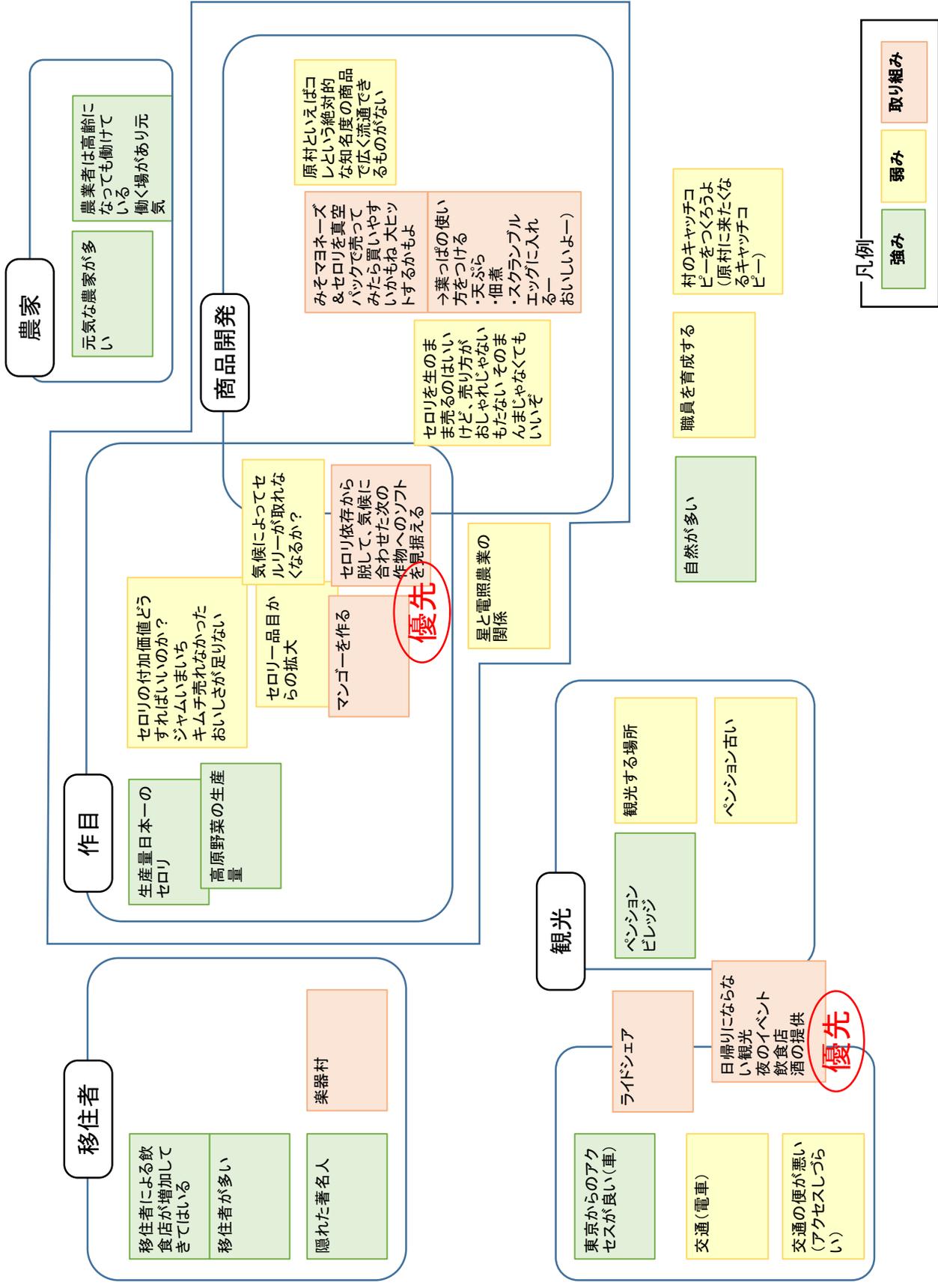
凡例



住まい



『産業振興について』 グループB



移住者

移住者による飲食店が増加してきてはいる

移住者が多い

隠れた著名人

楽器村

作目

生産量日本一のセロリ

高原野菜の生産量

セロリの付加価値どうすればいいの？
ジャム、いちじく、キムチ売れなかつた、おいしさが足りない

セロリー品目か？

セロリーによってセルリーが取れなくなるか？

セロリ依存から脱して、気候に合わせた次の作物へのソフトを見据える

マンゴーを作る

優先

星と電照農業の関係

農家

元気な農家が多い

農業者は高齢になっても働いている、働く場があり元気

商品開発

原料といえど、絶対的な知名度で広く流通できるものがない

みそマヨネーズ & セロリを真空パックで売ってみたいから、いちじくもね、スヒットするかもよ

葉っぱの使い方をつける

天ぷら

佃煮

スクランブルエッグに入れる

おいしいよー

セロリを生のまま売るのはいいけど、売りがおしやれないものはないぞ、まじやなくてもいいよ

観光

東京からのアクセスが良い(車)

交通(電車)

交通の便が悪い(アクセスしづらい)

ライドシェア

日帰りならいい観光

夜のイベント

飲食店

酒の提供

優先

ペンションビレッジ

観光する場所

ペンション古い

自然が多い

職員を育成する

村のキャッチコピーをつくらうよ(原料に来たくなるキャッチコピー)

一凡例

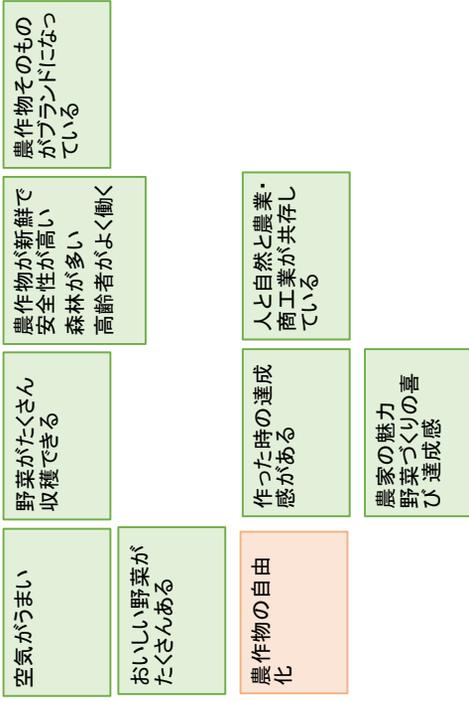
強み

弱み

取り組み

『産業振興について』 グループC

農業



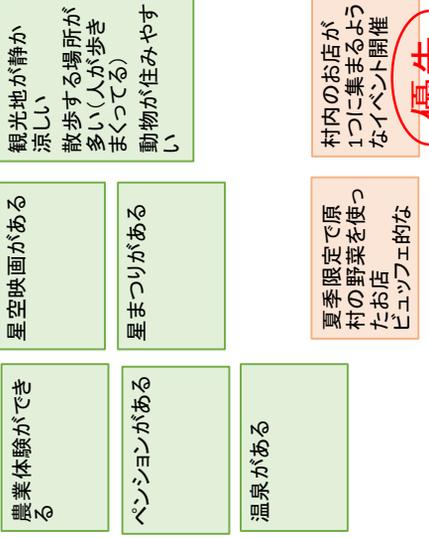
自動化の活用
農業機械
交通手段

農地の提供

食堂の方が農家への弁当の配達サービス

観光

冬場が弱い



優先

農業・その他産業の魅力の可視化不十分

労働が大変
資金が足りない

→若年層への雇用の場としての魅力発信不十分
→産業の弱み

働ぎ口が狭い

飲食店イベントを工業地区で

雇用

買物



凡例

強み

弱み

取り組み

第5次原村総合計画後期計画

7/31 第3回ワークショップ結果

『教育・文化について』

『教育・文化について』 グループA

自然

アウトドア キャンプ体験会

冬季スケート 単純にすごいな一と思う

住むことに意義がある原村(自然環境)

住みやすい(気候)

自然豊か 文化園など自然にふれる場もある

自然教室 バードウォッチングや山の植物教室

自然を利用したイベントの補助

自然の遊び 情報提供

古き良き街 並みと新しいおしやれな街並み(ペンション)

縄文時代の 栄光

縄文遺跡が多く歴史に直にふれられる

セロリン他2体とは別に原村遺跡に関するアピールもあってよいかも

温暖化と時代に快適な気候

優先

守る。

住民ニーズを確認する

ニーズを言いやすい伝えやすい環境づくり

教育

1村1校1園

立派な体育館やプール

夏プールの季解放

原村塾(?)なるもの

毎朝校長先生が校門で元気にあいさつしてるとこ

1園職員固定化しないように(専門職の非固定化を)

図書館や体育館が学校のすぐ近くにある

保育園から中学校までみんな一緒(が、ほぼ)

図書館や体育館が学校に近くにある

他校と比べて児童・生徒数が少ない

交流職員制度(いろいろな視野を広げるため)

保・小・中が近くにある

他校と比べて児童・生徒数が少ない

社会体育館の利用者が割といる

子供向け大人向け講座(参加人数不明だが)

公民館講座 多いが周知不足も感じる

利用者が限られる(ニーズが全体じゃない)

交通

レンタルサイクルを配置(車がないと移動できないに対して)

駅が遠いので進学への考慮要素が増える

登下校の危険が少ない

バスの運行数を増やせば見や芽野へも行きやすくなる

村内巡回バスを下校後に増便する

通学路の整備が不十分 ところあり

車がいないと不便

歩く人が少ない

学校から家が遠いところが、親の迎えを一人で待ってることがある

交流

交流カフェを作る(原童館兼ねて)

子供食堂・移住相談・観光案内一カ所で

村の総合力レンダーはすばらしい

6市町村対抗スポーツ大会

他エリアへ交換学習

移住・定住に關して村の情報発信が下手。「良くわからない」とされることもよくある

“おいでなし”で原宿を充実させる

小学校一高 校生 集まる場所

地域交流(子供たち)

役場以外の移住相談窓口(原村)がない

交流の場づくり(中心地)

他の近くの市町と子供の交流する機会を作る

《6市町村》学校の関わりをつくる(姉妹学校みたいな)

交流したい！したくない！のバラつき差がはばばしい(のどちらかにかたよったサービスにいく?)

移住者と地元住人の交流が少ない

サービス

住民の顔がわかる

新しい地区の新しい意見が聞ける

小さい村なのでサービスが行き届く

凡例

強み

弱み

取り組み

『教育・文化について』 グループB

スポーツ

社体
きれいで広い
アリーナ

文化

さき織り体験で
さきる

こてえの文化を
大事にしていく

美術館が村内に
あり、中学生と
交流ができる(ブ
ロンズ像)

文化財
土器がたくさん

文化財 キャラ
クター 小学生
にPRしていく
興味を持っても
らう

遺跡・文化財の
活用

阿久遺跡
一般の人が興味
を持ってような
発信があまりな
い

別のイベント等
何かとからめて
発信
興味のない人
の目にもふれさ
せる

交流

自然に触れあえ
る機会が多い

年齢関係なく交
流が多い

村の祭りがある
(よしいよ祭り)

小さい村のため
連携がとりやす
い

ニュージラランド
の学生さんとの
交流ができる

ジュニア教育お
もしろい

地域のつながり
が強く、見守りが
行き届きやすい

移住

移住者が多い

移住者の分析

若い人は一度村
を離れると戻り
にくい(就職先や
利便性から)

移住
就職先不安

移住者の声を
HPやSNS等で発
信していく

農業以外でも働
ける環境作りを
してほしい

優先

一戸建て+仕事
を提供
家賃 子供の数
で割引
いずれ自分の
持ち家にてできる

学校

小学校校庭が広
い

原村学
小学校
電子黒板いい

小学校校庭
手入れが足りな
いと思う

原つ子
場所がせまい

各施設を利用
するのに広い駐
車場の整備
公民館
役場周辺

保育園近場の公
園が限られてい
る

保育園・小学校・
中学校が村内に
1つしかない

保育園を増やし
てほしい(200人
オーバー)

優先

地域の方と校庭
草取り大作戦！
イベントも...

参加する人が
減っていかない
ように、祭りで
のイベントの工
夫が必要
雰囲気作り

森林や農業を
活かした学校イ
ベント(村有林
ひみつきち)

図書館

図書館
新しい本が早く
入る

図書館がよく利
用されている

図書館に
くつろげる場所を確保
する

図書館
くつろげる広い
スペースがあっ
たらいいなあ

優先

優先

強み

弱み

取り組み

一凡例

『教育・文化について』 グループC

学校

1村1校の手厚い教育

小・中4校ずつ

小・中学校が村に1校なので、子供同士が仲良さそう

通学バスがしい

学童・原っ子が充実

中学校のプールがえない

文化

図書館が充実

ハタ織りがステキ

移住

高齢の知識人が増えている

単身者のアパートが少ない

賃貸住宅が少ない

働く場所がない

移住相談にタクシーで来る人がいる

若い人たちの移住を増やす

スポーツ

運動できる公園がない

村自体にあまりスポーツ施設がない。気がする...

自然文化園は外から来た人の施設？

安心して自転車の乗れる場所がない

安全なウォーキングコースがない

公共施設利用方法の周知

近隣市の施設を利用できるようにする

子育て

保育園の建物が古い

母子通園など施設必要

建て替える

母子通園や子供と親を支援する施設を作る

第5次原村総合計画後期計画

8/3 第4回ワークショップ結果

『健康・福祉・子育てについて』

『健康・福祉・子育てについて』 グループA

地域

運動する場所

地域がつながっていることによる安心感

地域のつながり

こまかいニーズへの対応

移住者とのつながり

支えあいよりも自分できらなきやいけない事が多い(雪かき・校私い etc)

担当者との距離が近い

女性検診など無料で受けられる

18歳まで村が医療費を負担してくれる

「動ける人で動けない人を支える」というやり方はどこまで通用するのか
最終的には公助、予算増?

環境

若い子が病む。精神系の理解不足

ASD・ADHDのグレーゾーンの支援の充実を

障がい者とのふれあい

出合いの機会

若い人が相談しやすい環境づくり

若い子がやめない職場を

現場で声をあげる
現場の声をきく共有する

逃げ道を作る

出産

出産しても自分で子育てをしない
子育てしたくなるような環境の提供

出産後の母へのケア

子育て支援見直し

子育て・保育

誰でも使用できる交流スペースの設置

⑦ 交流スペース

保育士の人手不足

園児の多さ
⇒ 出産できているということ

子供が遊べる場所
勉強やバンドと自由に行ける場所がある
と良い

子育て中の母親(保護者)が気軽に相談できる場所をつくる(子供が遊べる場所)

保・小・中1校ずつなので、連携が取りやすい

保・小・中1校1園1校のため、行政とも連携はとりやすい

専門的な職員
心理士・相談員・カウンセラー採用

子育てしにくさ、園での過ごしにくさを感じている子供たち、保護者の方を支援していく組織がしっかり
と確立されていないため、(例: 専門の心理士や経験のある相談員等)早い段階での専門機関の支援が受けられない

コロナウイルスを機に業務分担の拡大
仕事増⇒人材増

優先

業務改善
仕事を減らし人を増やす

業務負担
保育、未満児保育、一時保育、早朝・延長保育

業務内容の見直し

どこにどれだけの負担がかかっているか、まず洗い出す

役場全体の意識改革

教育委員会
課内の業務見直しの話し合い

組織の見直し
業務分担

職員同士の協力体制
現状＝応援

可能な課題点の見直し
⇒ 実現

一凡例

強み

弱み

取り組み

車を持てない高齢者の移動について

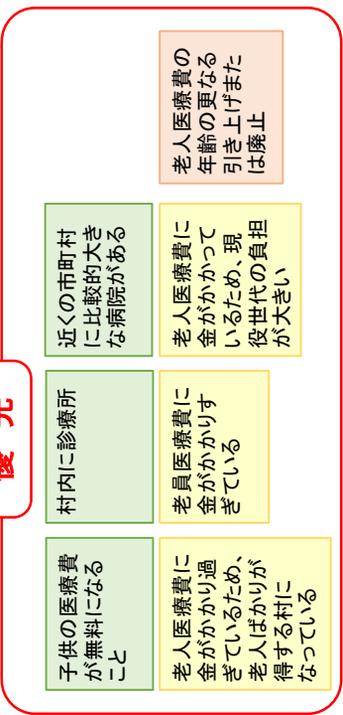
有償ボランティア
かなり広まっているのでは

公共交通の利便性

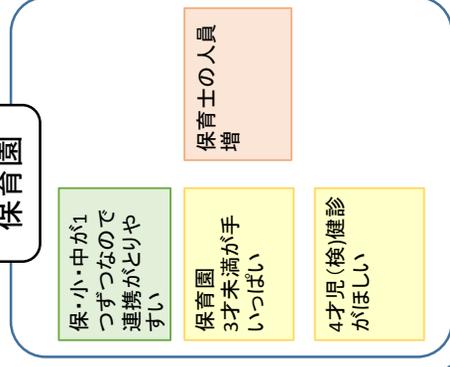
『健康・福祉・子育てについて』グループB



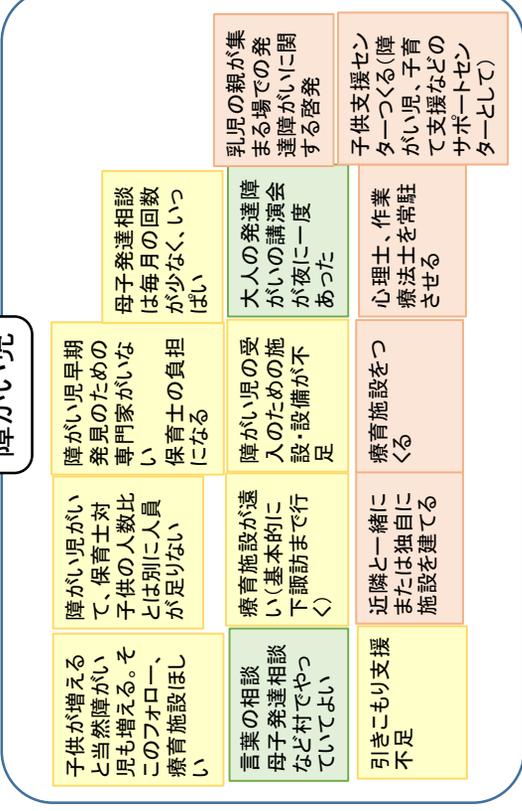
優先



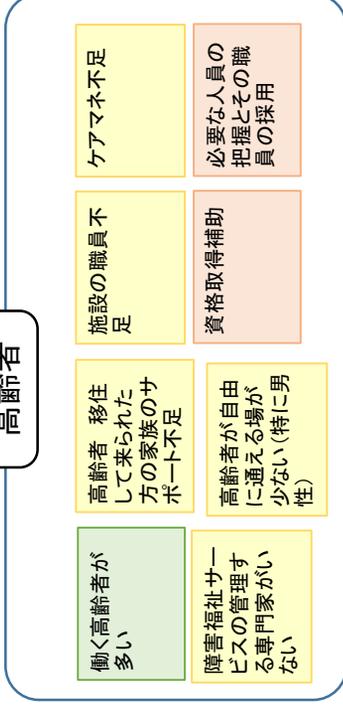
保育園



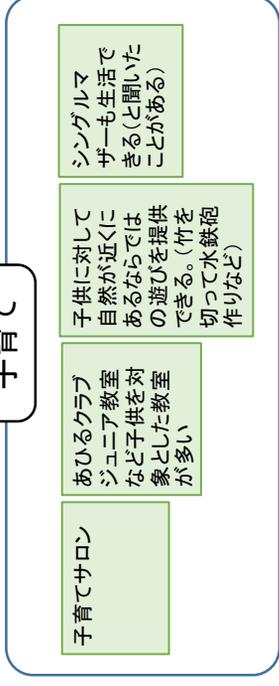
障がい児



高齢者



子育て



住民同士顔が見える関係

住民同士のうわさやに気を付けているのでなかなか本心は言えない

通院、介護サービスの不足

国が施設の統合を推す中、保健センターを独立して建ててしまった

LGBTなど同性婚のパートナー認定をしてはどうか

『健康・福祉・子育てについて』 グループC

凡例

強み

弱み

取り組み

優先

優先

優先

医療保障の周知(もっと)

医療費が高3まで完全無料

医療費の給付がある

18歳未満65歳以上の医療保障

高齢者の医療費サポート(無料ではなくなつてしまつたが...)

医療費の負担

医療費の財政

医療施設がそこそ充実している

診療所が近い病院も近い

医療施設を維持する

小・中が1校ずつで、環境の変化が少ない(子供が安定する。情報共有しやすい)

保・小・中が1つなので、何かトラブルがあると転居する方法しかない

高平原野菜ラメンを作る

原料の野菜などをつかった学校給食がおいしい

子ども課

役場の体制強化(子ども以外のこと)

核家族が少なく、介護など協力できる

保育園待機児がない

保育料3人目~無料

私立保育園ベビーシッター呼ぶ、増やす

子供の遊び場公園などが少ない

子育てサロンの開設時間、日が少ない

子供が安全に遊べる公園の整備

子供の交流もできる場所も兼ねる

他市町村と比べ、きめ細やかな支援が受けられる

人数が少ないので、きめ細かいサポートができる

住民が参画できる事業

住民同士の距離感の近さ

村民同士の距離感の近さ

高齢者のコミュニケーション活動がない

高校生が参画できる事業

高校生が活躍できる場が少ない

高齢者が元気

高齢者に仕事を委託する

高齢化が進んでいる

差別化できるほどの特徴、個性が足りない

出会いの場がない

若い人同士のつながりが少ない

若い人が長つてこない

交流の場の創設

バスケットコートを作る

企業数が少ない

Uber/タクシー事業

スーパーが1つしかない

移動手段を増やす(高齢者の)

交通手段が限られる

高齢者の移動手段が少ない

高校生の送迎

移動手段を増やす(高齢者の)

冬の期間に体を動かせる施設が少ない

自然豊かなアウトドア活発になる

原山のほうにスポーツ施設をつくる

冬のイベント増やす

歩数を原村で使えるポイントにする

冬にイベント増やす

・スノーシュー

・かまくら

・保存食作り

ストレスが少ない

天気が良い

第5次原村総合計画後期計画

8/4 第5回ワークショップ結果

『村づくりについて』

『村づくりについて』グループA

凡例

強み

弱み

取り組み

広域連携

諏訪広域の連
携に加えて、
定住自立圏で
の連携も行わ
れている

福祉や医療の
専門職が財政
的に雇えない
が、広域連携
もできない

広域行政とし
て広域連合、
定住自立圏が
あり、重点項目
について連携
がとれている

公民協働

戦略的な事業
が分らない

村づくりに参加
する人が限ら
れている

10年先どうあつ
てほしいかを
見据えた事業
戦略！

一部の人の意
見が強く、多く
の人の意見が
反映されていない

多くの方が
思っているが
発言しない声
をさぐる

SNS、インタ
ーネットを活用し
た住民の意識
調査の仕組み
作り、リアルタ
イムで広く住民
の意見を聞く

住民(区)

原山地区のま
とまり

各区ごとの「でばらい」
や「ゆい」のシステムが
ある
⇒地域内への広が
りがある

最近核家族化が進み、
子育てに悩む母親が多い。
お年寄りの知恵を子育て
に活かせる交流の場を作
る(おいでなして原宿のよ
うなもの)

区がしっかりと
している
意見の集約と
決り

ボランティア協
議会をうまく
使っている

子育て世代の
支えあいのシ
ステム(仕組)
「ファミリーサ
ポート」がない

庁内

防災避難マ
ニュアルの作
成
防災勉強会

防災について
の知識が乏しい。
いざという時、
職員としてどう
動けばいいの
かわからない

意見や考えを
気軽に言える
環境

庁内会議の内
容が課長から
知らされない

情報共有を徹
底するよう庁
内会議でも
言ってほしい

電子化が進め
られていく

庁内会議の内
容、総務課で
課長によってと
らえ方が違うた
り

庁内会議担当
課が全職員へ
周知する

施設

施設の老朽化
による修繕費
の増加

企業版ふるさと納税
などを活かし、民間
の力を信じて事業や
施設の運営(PFI)な
どを進める

地域の方々と
の交流が少な
い(子供、シニ
ア世代)
居場所の確保

公共施設も老
朽化している
中で、緊急度
重要度を調査
して改善してい
く

教育施設の充
実
中ブール

広域による施
設利用と維持
管理
長寿命化計画

有

情報発信

有線放送
の有線放送は聞
かないという声
が多い

有線放送設備が無い
地域については、ホ
ムページを活用した情
報発信、自治会専か
ら住民への周知をし
ていただく

有線放送原稿
のテキストが
HP上で放送期
間に読めるシ
ステム

有線放送シス
テムを充実す
る
・防災
・生活
・行政

『村づくりについて』 グループB

情報

年代によって情報発信のツールを使い分ける
有線放送がどれだけ聞いているのか

岳ろくど湖周では産業構造が異なるため広域的に取組むことが困難

自治

地区でやれることはしようとする

地域により協力ができない雪かき等

集落内の高齢化による若者への負担増出払いとか

移住者が良くもわるくも元気

景観が良い

顔が見える

住民との距離が近い

住民同士の顔が見える関係性

防災

災害が少ない

災害支援体制の強化
災害ゴミの対応など

消防

消防広域になりサービスが一定

消防団員の減少
準団員をつくる

凡例

強み

弱み

取り組み

コミュニティ

1人ひとりが何ができるか

子育て世代はとけ込みやすい
PTAとか

住民主体の活動が長く継続していかない？
(育たない?)

新しい住民が地域活動に参加しづらい

定住者と住民の交流があまりない

エコラインの上と下で住民の意見が異なる

地区に加入しない人が増えしてきた

地区の取りまとめ等が出来る人材育成

世代を超えた集まるツールがない(交流が少ない)

移住者の方との交流の場がよくわからない

村政への関心に温度差がある

参画する住民が固定化している

リーダーの育成

新しい活動は元の住民の参加が少ない

地域で生活できるところにいく

高齢者の1人での生活

移住者等に対し「原村を知ろう!」的なイベント開催
※分野に詳しい方を講師に迎える

子供を中心とした公民協働活動

『村づくりについて』 グループC

災害が少ない
自然環境が良い

村民の顔が見える

有線放送による情報発信
分かりやすい

有線放送
(自宅内で聞ける)

緊急メールの活用

有線放送
放送内容の伝達方法
電話⇒スマホ

HPの見直し

情報発信
(HPが見づらい)

ほしい情報にたどりつけない

文字放送終了

HPの内容
情報が少ない

優 先

災害発生時の
行動

役場ロビーが
やや暗い

原村が描かれて
いるマンガ
があるが、そ
れを活用でき
ない

原村を紹介す
る物を置く

凡例

強み

弱み

取り組み

行政事務の効
率がわからない

他の課の仕事を
知らない

行政効率化に
ついて考える

庁内他課との
横のつながりが
ないように感じる

必要な事業を
推進して行う

フレックス出勤
の推進

テレワークに
取り組む

優 先

茅野・富士見・
北社とは連携
が取りやすい

行政に参画し
よととする人が
少ない気がする

住民参加とい
うが、決まった
人しか参加し
ない

公民協働
限られた人の
み

『村づくりについて』 グループD

一凡例

強み

弱み

取り組み

